

## 生活・体育コース

### 家政領域

科学技術の進展にともない複雑化する生活の諸問題についてを、食物学、被服学、住居学、保育学及び家庭経営学の立場から分析し、研究します。特に、人間と環境の相互関係を各領域を超えた総合的視点でとらえていきます。また、家族や家庭生活の在り方が問い直されている現在、家庭、学校及び社会における生活文化の方向を探る中で、家庭科教育の展開と実践上の諸課題を追求します。



#### 修士論文

- 家庭科における自己理解に関する学習プログラムの構想
- 地域社会と親の養育態度が小学生の社会的スキルに与える影響
- 授業実践を通じた主体的な食生活実践力の育成

#### 専任教員の研究・教育の概要

##### 上里 京子

【家庭科教育学】

家庭科教育学を専門とし、日本と外国の家政・生活教育思想史や、カリキュラム比較と開発研究を行っています。最近特に、科学的系統性重視のカリキュラムを特徴とするフランスの生活科学教育との比較を通して、日本の家庭科教育の認識論やカリキュラム開発を進めています。大学院での学びにおいても、日・仏・米の家庭科教育の現状と課題をリアルに分析し、課題解決の方策についてカリキュラムと授業開発を通して検討しています。

##### 小林 陽子

【家庭科教育学】

家庭科教育学や家政学の成立、変遷に関する史的研究を行ってきました。家庭科教育はジェンダード・サブジェクトとしての歴史をもつため、ジェンダーについても関心があります。近年は、家庭科教育実践や家庭科教員養成にも関心を寄せています。授業では、戦後家庭科のあゆみを「女子用教科」から「男女共修」へ、そして、現在の課題である「男女共教」について、カリキュラムとともに検討します。

##### 西菌 大実

【食物学】

食物の生産・流通とその環境負荷が中心的研究分野です。主な研究テーマは、食品のコールドチェーン(低温流通)の冷媒管理のあり方についてです。授業では小中学校家庭科の食物分野と消費・環境分野の学習に視点を合わせ、海外を含む遠隔地で生産された食物の利用が増大する現代における、食教育全般に視野を広げて検討します。

##### 田中 麻里

【住居学】

私たちが生活している空間を対象とした研究とデザインワークを行っています。アジアをフィールドとした伝統的住空間の変容や防災教育について研究を進めています。授業では、小中学校家庭科の住居分野で重要となる住まいの地域性や室内環境の快適性、減災の知恵について学びを深め、地域の特性を理解するための学びのあり方についても検討します。

##### 前田亜紀子

【被服学】

人体-衣服-環境をひとつの系として捉える衣環境学、被服衛生学の研究を行ってきました。被服には身体を保護する役割と機能があります。一方で文化や慣習の下では、着心地や快適性よりも、心理的側面が優先されることもあります。両者の関係性を多面的に追及します。授業では衣服が繊維から作られ、購入、管理、消費のサイクルを通して、環境まで考えることができる、包括的な衣生活の力を身につけることを目標にしています。



## 保健体育 領域

保健体育科教育学、体育学、運動学、学校保健学及び教育科学の理論的及び実践的研究を基礎として、保健体育教育に関する総合的な教育・研究を行います。また、保健体育学に地域性を持たせるとともに、生涯教育を行うことができるように、地域での理論的・実践的な共同研究を進展させ、より学際的・総合的な課題を追求します。



### 修士論文

- 小学校低学年のゲーム領域における運動有能感を高める指導の在り方  
一 経年的にみた運動有能感の変容に着目して一
- 保健体育教師をめざす学生にむけたアンガーマネジメント・プログラム提案のための研究
- サッカー未熟練者におけるボールキック特性 一小学生のインステップキックに着目して一

### 専任教員の研究・教育の概要

#### 木山 慶子

【体育科教育学】

体育の目標・内容・評価について、学習指導要領の歴史的変遷を踏まえ、検討しています。授業では、体育科教育学の視点から、体育の授業づくりを考えます。よりよい授業への授業改善のプロセスを理解し、特に授業評価についての基礎的基本的な知識・技能を習得し、それらを活用できる実践力を身につけることをめざします。

#### 鬼澤 陽子

【体育科教育学】

「体育の授業研究(体育科教育の実践的研究)」が中心的な研究分野です。現在の主な研究テーマは、「学習成果を保証するための教材開発とその学習成果を評価するための尺度開発」、「運動が苦手、嫌いな傾向の児童生徒の運動有能感を高める指導の在り方」です。授業では、国内外の研究の動向を踏まえながら、体育の学習指導論、体育の指導方略・指導技術を中心に取り上げるとともに、これからの体育の授業について検討します。

#### 中雄 勇人

【運動学】

運動生理学およびバイオメカニクスの観点から、運動による身体諸機能および身体動作の変化などを検討し、子どもから高齢者までの体力諸能などの基準値作成や、新たな指導法の構築などの研究を行っています。授業では、運動学等の研究手法を例に挙げて、教育現場において日々新たに発生する課題の発見やその解決方法を学習し、就職した後も現場において自ら課題を克服していける能力を身につけることができるよう検討しています。

#### 新井 淑弘

【学校保健学】

健康や運動、環境、老化について、細胞生物学的、生化学的手法を用いた研究を行っています。また、保健科教育における、「公害問題の教材化と学習効率」に関して、環境科学的視点を重視した研究を行っています。担当授業は「保健体育科内容研究Y」「保健体育科教育研究C」「学校ヘルスプロモーション」で、その中では「保健領域の授業づくり」についておよび、「学校における新しい健康づくりの在り方」等について考えていきます。

